

杉山 迪子 内容の要旨

氏 名	杉山 迪子
学位の種類	博士（医学）
学位記番号	甲第 1337 号
学位授与の日付	平成 29 年 3 月 24 日
学位授与の要件	学位規則第 3 条第 1 項第 3 号に該当

## 学位申請論文タイトル及び掲載誌

Grading system for blood vessel tumor emboli of invasive ductal carcinoma of the breast

静脈腫瘍塞栓異型度・浸潤性乳管癌の有用な予後因子

Human Pathology 46(6) 906-916 March.19.2015 2015 年 3 月 19 日掲載

学位審査委員（主査）教授 畝川 芳彦

（副査）教授 山田 健人、教授 矢形 寛、教授 鹿間 直人

## 論文内容の要旨

【目的】浸潤性乳管癌(Invasive ductal carcinoma; IDC)において、静脈腫瘍塞栓の核分裂像(Mitotic figure, MF)の数、アポトーシス像(Apoptotic figure, AF)の数が、IDC 患者の予後を正確に推測する上で有用であることをすでに報告した。今回は、静脈腫瘍塞栓形成腫瘍細胞の MF, AF に基づく静脈腫瘍塞栓異型度(Blood vessel tumor embolus grade, BV-Grade)を考案し、BV-Grade が IDC 患者の初回再発(TR)の有意な指標となるか否か、既知臨床病理学的因子との多変量解析にて検討した。

【方法】対象は 263 例の IDC であり、静脈腫瘍塞栓腫瘍細胞の MF・AF 数に基づき、BV-Grades 0-2 に分類した。BV-Grade 0: 静脈腫瘍塞栓なし; BV-Grade 1: MF(0 個)/AF ( $\geq 1$  個)、あるいは MF (1 個) /AF (0-2 個); BV-Grade 2: MF(1 個)/AF( $\geq 3$  個)、あるいは MF ( $\geq 2$  個) /AF ( $\geq 1$  個)と定義した。

【結果】BV-Grade 0、1、2 症例は各々 195 例、55 例、13 例であった。全症例を対象とした検討において、BV-Grade 2 は TR の有意な指標となることが明らかとなった。また、BV-Grade 2 は、リンパ節転移の有無、UICC pTNM 病期 (I/II 期症例および III 期症例)、ホルモン受容体蛋白発現の有無、及び HER2 蛋白発現の有無にかかわらず、TR の有意な指標となることも判明した。対して、BV-Grade 1 は TR の有意な指標とならず、静脈侵襲陽性例には、静脈侵襲陰性例と同等の、予後良好群が存在することも明らかとなった。

【結論】以上より、BV-Grade は IDC の悪性度を正確に推測する上で、極めて有用な病理組織学的因子と考えられた。